

2015年9月29日
日立キャピタル株式会社
株式会社日立製作所

日立キャピタルと日立、西部ガスが風力発電分野における共同事業実施に合意 事業会社を設立し、福岡県北九州市に風力発電所を建設・運営

日立キャピタル株式会社(執行役社長:三浦 和哉/以下、日立キャピタル)および株式会社日立製作所(執行役社長兼COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、西部ガス株式会社(代表取締役社長:酒見 俊夫/以下、西部ガス)と、風力発電事業を共同で実施することに合意しました。

本合意に基づき、日立キャピタルと日立の共同出資会社である日立ウインドパワー株式会社(以下、日立ウインドパワー)と、西部ガスの子会社であるエネ・シード株式会社(以下、エネ・シード)が、共同事業会社「エネ・シードウインド株式会社」を2015年9月に設立し、福岡県北九州市に風力発電所を建設します。風力発電所の運転開始は2017年3月を予定しています。

日本では、低炭素社会の実現をめざした再生可能エネルギーの固定価格買取制度が2012年7月より導入され、太陽光発電所や風力発電所の建設が進んでいます。また、2016年の電力小売り全面自由化に向け、電力事業分野への新規参入や、事業拡大を計画する企業が相次いでいます。

こうした市場環境の中、風力発電分野においては、風況のよい建設可能な立地が減少しており、風が比較的弱い場所でも発電量が確保できる機種のニーズが高まっています。また、多数の風力発電事業者の参入により、売電契約や系統連系協議、ファイナンス組成なども含めた総合的なエネルギーソリューションの提案が求められています。

今回、日立キャピタルの金融サービスと、日立の納入実績が豊富な風力発電システムを組み合わせたエネルギーソリューションおよび、西部ガスの天然ガス普及を通じて蓄積してきたエネルギー供給事業者としての実績を融合させ、拡大が見込まれる風力発電分野で積極的に事業を展開することで合意しました。本合意に基づき、日立キャピタルの子会社である日立ウインドパワー(取締役社長:片岡 淳)と西部ガスの子会社であるエネ・シードは、新たに風力発電事業会社である「エネ・シードウインド株式会社(代表取締役社長:早川 嘉之)」を設立します。今後同社は、北九州市に「エネ・シード北九州風力発電所」を建設し、日立の低風速域対応2MWダウンウインド型風力発電システム「HTW2.0-86」2基を設置します。日立キャピタルが西部ガスとの共同事業実施のためのサポートを行い、風力発電システムの設計・建設・保守は日立が担当します。西部ガスによる風力発電事業への取り組みは初めてとなります。

日立キャピタルは、日立との共同出資により設立した日立ウインドパワーを通じ、風力発電事業者としてのノウハウを蓄積するとともに、発電所の運営や売電契約、系統連携協議、ファイナンス組成なども含めたエネルギーソリューションの提供をめざしています。現在、低風速域および高風速域に対応した2MW級風力発電システム2基のほか、洋上風力発電所に向けた大型化ニーズに対応した5MW風力発電システム1基が商用運転を行っています。

日立は、ローターをナセルの風下側に配置する独自のダウンウィンド型風力発電システムでこれまで国内で200基以上の受注実績を有しており、その信頼性や経済性が高く評価されています。洋上風力発電所向けの「HTW5.0-126」、陸上風力発電所向けの高風速域に対応した「HTW2.1-80A」と低風速域に対応した「HTW2.0-86」の3種類の機種を揃えています。

今後、日立キャピタルおよび日立は、西部ガスとの戦略的提携をさらに強化し、エネルギーサービスや電力小売などの社会インフラ分野での協業範囲の拡大を検討していきます。

■エネ・シードウィンド株式会社概要

| | |
|-------|----------------------------------------------------|
| 社名 | エネ・シードウィンド株式会社 (英文社名: ENE SEED WIND Co., Ltd.) |
| 代表者 | 代表取締役社長 早川 嘉之 |
| 所在地 | 福岡県福岡市博多区千代一丁目17番1号 |
| 設立年月日 | 2015年9月29日 |
| 事業概要 | 再生可能エネルギー等による発電並びに電気の供給・販売 |
| 資本金 | 100百万円 (出資比率: エネ・シード株式会社 66%、日立ウィンドパワー株式会社 34%) |

■エネ・シード北九州風力発電所概要

| | |
|------|--------------------|
| 事業者 | エネ・シードウィンド株式会社 |
| 所在地 | 福岡県北九州市若松区響町一丁目26番 |
| 発電容量 | 2,000kW × 2基 |

■HTW2.0-86(イメージ図)



■風力発電システム「HTW2.0-86」の主な仕様

| | |
|----------|-------------------------------------------------|
| 型番 | HTW2.0-86 |
| 定格出力 | 2MW(2,000kW) |
| ローター直径 | 86m |
| タワー高さ | 65m |
| ブレード枚数 | 3枚 |
| ローター位置 | ダウンウインド |
| ヨー制御 | 通常運転時:アクティブ制御 暴風停電時:フリーヨー |
| 発電機種別 | 交流励磁同期発電方式 |
| カットイン風速 | 4m/s |
| カットアウト風速 | 24m/s |
| 風速クラス | IEC-Class II A ⁺ (ただし、極地風速は Class I) |

■照会先

日立キャピタル株式会社
 アカウント事業本部 環境事業部 [担当:鈴木、竹澤]
 〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号
 TEL 03-3503-7280(直通)

株式会社日立製作所
 エネルギーソリューション社 新エネルギーソリューション事業部 風力発電推進部 [担当:山田]
 〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目18番13号
 TEL 050-3085-6874(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
